

おおさわがわほか かせん
【8】大沢川外4河川

1.概要

大沢川は、高津森から翁倉山（標高 532.4m）に続く山稜地帯に源を発し、山間部を東流して平地に出て、大岩付近から北上川と平行に流れ、吉浜付近で追波沢川を合わせ、月浜地先で月浜第二水門を経て北上川に合流する、流域面積 24.93 km²、河川延長約 7 kmの一級河川である。

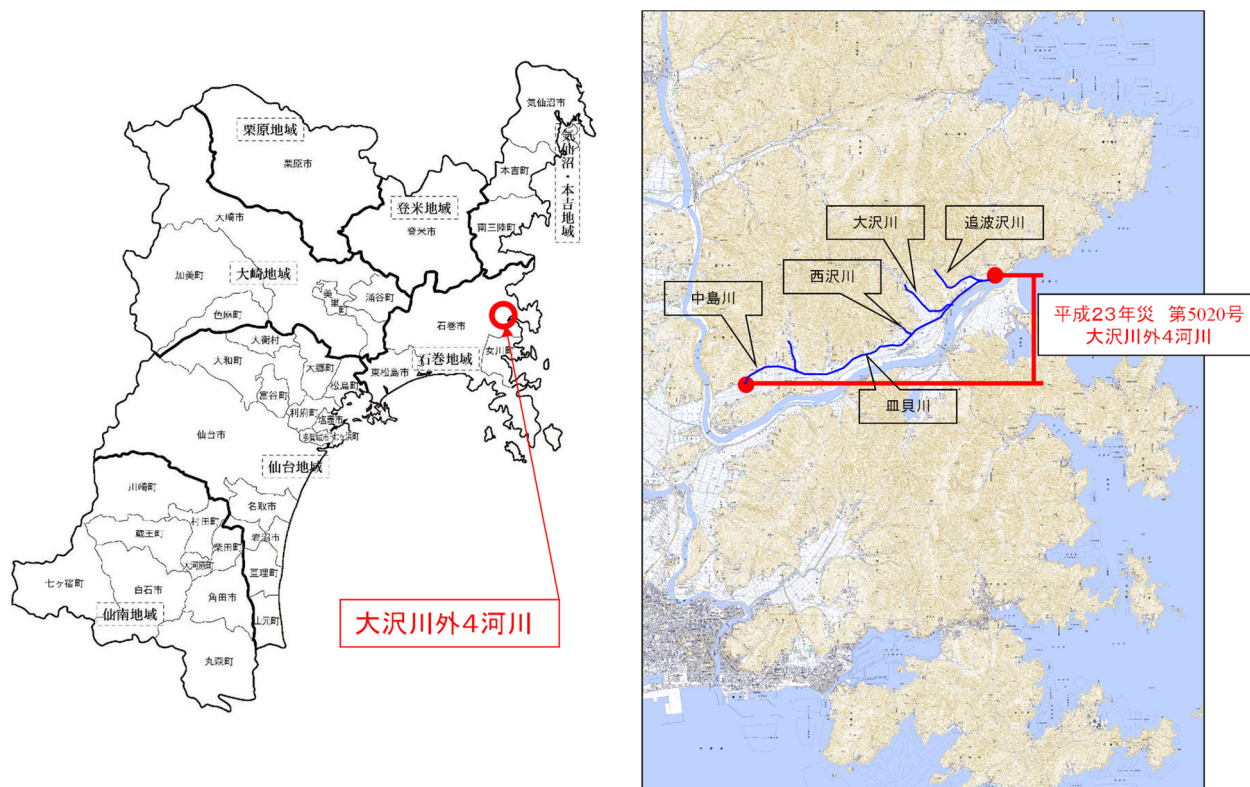


図 4-8-1 位置図【大沢川外 4 河川】

2.震災後の状況

(1) 被災前後の状況

震災以前、大沢川外 4 河川の周辺は主に田畑や森林が広がり宅地等が存在したが、津波により甚大な被害を被った。また、各河川施設も沿岸部の広範囲にわたって、地盤沈下、堤防裏法流出、護岸倒壊、護岸天端流出、護岸流出、堤防決壊などの甚大な被害を受けた。



図 4-8-2 震災前後の大沢川外 4 河川の状況【大沢川外 4 河川】